

発行/千葉市議会議員茂手木直忠政務調査事務所
千葉市稲毛区轟町1-13-3 TEL043-287-5222 FAX043-256-9076

http://www.motegi-nao.jp/

報告 平成26年

第3回定例会

平成26年第3回定例会は9月8日に招集され、10月3日までの日程で開催されました。

今議会に上程された議案は、一般会計・特別会計補正予算案5件、条例案10件(制定4件・改正5件・廃止1件)、一般議案6件(規約の改正1件・工事請負契約1件・和解3件・市道路線の認定及び廃止1件)、決算の認定18件、決算関連議案1件(未処分利益剰余金の処分)の計40件で、各常任委員会で慎重に審議され、市執行部提出の議案全てが可決・成立しました。

議会の前半では各会派の代表による質疑が、また、後半には26名の議員による一般質問が活発に行われ市政を質しました。

決算で審査した主な事業

■税源の確保

・市税の増税により27億8千4百万の実質収支を確保したが、退職手当債の発行や国民健康保険財政においては、多額の累積債務を抱えている。
・財政健全化プラン(22年度〜25年度)に基づく増収率の向上において、目標達成が見られている。

■高齢化施策の充実

・特別養護老人ホームの増設を図ることとしている。

■子育て支援施策の充実

・民間保育園の施策を進め、待機児童の解消を図っている。

■大都市基盤整備として

・千葉西口再開発を進めている。

・地域経済の活性化を図るため企業立地を促進している。

■災害対策として

・帰宅困難者対策を講じている。
・公共施設の耐震化を推進している。

平成25年度の決算を認定しました。

常任委員会(保健消防委員会)で審査した主な事業

私が所属する常任委員会「保健消防委員会」では、保健福祉局、消防局及び病院局の所管に属する事項について審議します。
その審議について抜粋・要約してご報告します。

◎一般会計補正予算

①高齢者施設開設準備費補助事業費
《9千600万円》

補助対象が確定したことから、その費用を計上する。

②定期巡回・随時対応

型訪問介護看護サービ
ス支援事業費
《432万円》
市内事業者への運営
費補助を実施する。

③障害者グループホーム
スプリンクラー設置
費補助事業費
《1千246万4千円》
市指定のグループホーム
に対してスプリン
クラー設置の補助事業
を実施する。

④福祉総合情報オンラ
インシステム(特別児
童扶養手当)改修事業
費
《1千200万円》
都道府県から指定都
市へ「特別児童扶養手
当」の受給資格認定等
の事務が移譲されるこ
ととなり、既存のシス
テムの改修に要する経
費について補正を行う。

◎千葉市国民健康保険
事業特別会計補正予算
【療養給付費等交付金
償還金】
《2億664万2千円》
平成25年度推計値と
実績に差が生じたため、
交付金を返還すること
となった。

◎千葉市介護保険事業

特別会計補正予算
【介護給付費負担金等
償還金・介護給付準備
基金積立金】
《13億5千
260万6千円》
超過交付金が生じた
ため、その返還を行う
とともに、剰余金につ
いて介護給付準備基金
への積立を行うため、
平成26年度予算の補正
を行う。

◎千葉市衛生関係手数
料条例及び千葉市指定
介護療養型医療施設の
人員、設備及び運営に
関する基準を定める条
例の一部改正
薬事法及び薬事法施
行令の一部改正に伴い、
題名、条文及び使われ
ている語を改める。

◎平成26年度千葉市病
院事業会計補正予算
《15億円》
看護師不足で、病床
稼働率の低下などに
よる運営悪化に対応す
るため、一時的な資金不
足を補い、短期借入金
の限度額を引き上げ、
病院運営資金を確保す
る。
全て慎重に審査し、
補正予算及び条例改正
を可決しました。



市政に関する皆様のご意見・ご要望等

市政に反映できるように今後も全力で取組んでまいります。FAXでお寄せください。

スポーツ振興と施設の整備

千葉市へ

東京オリンピック・パラリンピック選手のキャンプ地を誘致します

千葉市は、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの会場まで約40kmと、好立地にあります。

世界の一流選手が千葉市に滞在して、調整練習をするキャンプ地として、競技施設を利便してもらえる誘致計画を促進しています。

そこで私は、老朽化の著しい体育館とプールを建て替え、選手がキャンプ地としての誘致をしやすい環境作りを提案してまいります。

すでにキャンプ地の誘致の実績として、2002年のサッカーワールドカップにアイル

ランドチームを、稲毛海浜公園に迎えております。

千葉市は、千葉公園内に新たな運動施設整備計画をつくり、施設整備を推進することとしています。

2019年度までに体育館・プールの整備を終了させて、世界に誘致をアピールします。

また、末広町の武道館も耐震性能が基準値を下回っていますので、併せて整備することを進めています。

また、「ヨット・セーリング競技」の会場を「千葉市稲毛海岸ヨットハーバー」への変更を検討しているとの報道に対しても、動向を注視してまいります。



千葉公園プール



千葉公園体育館



末広町武道館



ヨット・セーリング

熊谷市長に要望書提出

10月2日付で「千葉市議会スポーツ振興議員連盟」会長として、私ほか37名の連盟所属議員と連名で、体育施設の整備促進について要望書を提出しました。

以下、要望書から抜粋して報告します。

「千葉公園新体育施設の整備に関する要望書」

私たち千葉市議会スポーツ振興議員連盟では、市民のスポーツ振興と競技力向上の更なる高みを目指すため、千葉公園体育施設の整備に当たり、以下の項目について要望します。

- ① 千葉公園の立地を活かし、全市的なスポーツの拠点施設として整備すること
- ② 武道館として十分機能する施設とすること
- ③ 日本水泳連盟公認50M室内プールと大会開催に必要な観客席を整備すること
- ④ 体育館は、メインアリーナ、サブアリーナを擁し、メインアリーナには大会開催に必要な観客席を整備すること
- ⑤ 新たなスポーツにも目を向け、幅広い種目利用に対応すること

次のような経緯から要望書を提出するに至りました。

平成13年の第4回定期会議で本市から「次期実施計画策定の中で検討する」との答弁がありました。ところが、あらためて今定期会の代表質疑の中で質しました。

Q 体育館、武道館、プールの設置については、オリンピックを見据え

た国際大会の開催に必要な要件を取り入れた施設にすべき、また、プールにおいては50Mの屋内プールとすべきと思うが

A 「千葉ポーターアリーナ」が大規模大会、イベント開催の機能を担っていくべきと考え、千葉公園内に整備予定の新体育施設については、市民大会の拠点として必要な規模と、全市的なスポーツの拠点施設として機能する設備を想定している。

また、屋内プールの設置には、多額の経費を必要とすることから、競技需要や市民ニーズなどを総合的に勘案し、検討を行っていく。

このように、当局からは消極的で残念な答弁が続いています。スポーツを行うことは多くの意義と効果を持ち、健全で活気のある社会を育むなど、多大な貢献をします。

このことから積極的な取組みを希望し、提出をしたものです。

もてぎ直忠

なおただ

市議会レポート
政策通信